

平成20年度事業報告書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

【概要】

平成20年度(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)の事業概況は、次のとおりである。

前年度に引き続き、銀行券等の印刷製紙技術及び学芸業務に関する助成、銀行券等の印刷事業の周知普及業務を積極的に展開した。

1. 広く一般を対象とした印刷技術、製紙技術及びその関連技術の調査、研究及び奨励事業として、次の事業を行った。

- (1) 日本印刷学会が広く一般から募集し、優秀と認めた印刷関連の技術論文に対し、同学会の推薦に基づき、当会から表彰状及び賞金を贈り表彰した。
- (2) 日本印刷学会が主催する広く一般を対象とする印刷及び同関連技術に関する講習会、講演会に対して講演助成を行った。
- (3) 紙パルプ技術協会が広く一般から募集し、優秀と認めた紙パルプ関連の技術論文に対し、同協会の推薦に基づき、当会から表彰状及び賞金を贈り表彰した。
- (4) 紙パルプ技術協会が広く一般を対象として行った紙パルプ関連の純学問的な研究発表会における優秀発表に対して、研究奨励賞を贈り表彰した。
- (5) 銀行券関係の印刷、製紙技術及び偽造防止に関する国内又は国際的な研究又は研修会議に出席して調査研究、関連資料の収集を行うために、同会議への一般参加者に対して、助成を行った。
- (6) 広く一般を対象とした凹版、銅版印刷技術に関する歴史等を紹介する東京芸術大学美術館主催の「線の巨匠たち—アムステルダム歴史博物館所蔵素描・版画展」に対して助成を行った。
- (7) 伝統的な和紙技術の振興普及のため、紙祖神である福井県武生市にある岡太神社社殿の絵図等の文化財の修理保存に対して助成を行った。
- (8) 当会のホームページを活用して、広く一般に対して銀行券、新印刷及び製紙技術に関する各種情報を提供した。

この部門において、2,979,992円を支出した。

2. 広く一般を対象とした銀行券、切手等に関する学芸研究及び調査事業として、次の事業を行った。

- (1) 広く一般を対象として開催された日本貨幣商協同組合主催の「東京国際コインコンヴェンション（T I C C） 2 0 0 8」特別講演会開催に際して、専門の講師を派遣し、銀行券等に関する学芸業務についての啓蒙活動を行った。
- (2) 明治初期において紙幣印刷技術の向上に貢献したお雇い外国人エドアルド・キヨッソーネ、カール・アントン・ブリュックの文化財的な墳墓の管理を行い、その歴史的な功績を維持保存した。
- (3) その他、銀行券等の技術及び歴史等に関する学芸調査研究を行った。

この部門において、799,582円を支出した。

3. 広く一般を対象とした銀行券等に関する印刷事業の宣伝及び普及に関する事業として、次の事業を行った。

- (1) お金と切手に関する印刷、製紙技術等の普及宣伝及び社会教育のため、「お金と切手の展覧会」を平成20年8月12日（火）から18日（月）まで、独立行政法人造幣局及び国立印刷局等の後援により、神戸市の大丸百貨店において開催するとともに、展覧会に使用する各種展示物、資料等の作成とその充実を図った。
- (2) 広く一般が参加する平成20年5月2日（金）から4日（日）まで中央区日本橋ロイヤル・パーク・ホテルで開催された「第19回東京国際コイン・コンヴェンション」を後援して特別参加し、凹版印刷の実演を行った。
- (3) 広く一般を対象として行われた「お札づくりの日」記念の特別展等に協力し、銀行券等の印刷事業の普及宣伝業務の一環として凹版印刷等の実演等についての協力を行った。
- (4) 広く一般が参加する池袋サンシャインで開催された「JAPEX2008」に出展参加し、切手印刷事業等の普及宣伝を行った。なお、銀行券及び切手収集等に関する研究発表のうち優秀な作品に対して表彰を行った。
- (5) 平成21年1月15日（木）から21日（水）まで名古屋市の丸栄百貨店において、日本貨幣商協同組合が主催した「世界の貨幣まつり」に協賛して、お札に関するミニ巡回展覧会を行い、展示及び凹版印刷の実演を行った。
- (6) 全国の公立中学校を対象に社会科教育の教材として各都道府県の教育委員会等を通じて、銀行券等に関する図書類の寄贈をした。

この部門において、16,727,404円を支出した。

4. 広く一般を対象とした印刷、製紙に関する図書類の企画、編集、出版、頒布に関する事業として、次の事業を行った。

- (1) 製紙技術関連図書として、「和紙の歴史」の増刷発行を行った。
- (2) 展覧会その他各種イベント等の行事の際に、来場者に対して配布する小冊子「戦後に発行されたお札・A券シリーズから現行券まで」及びその他各種の資料等を制作頒布し、並びに展覧会等のイベントに相応しい凹版印刷物等の関連グッズの開発製作及び配布を行った。
- (3) 広く一般を対象とした印刷・製紙に関する図書等の出版頒布事業として、当会の既発行の「活版印刷発達史」、「お札のはなし」、「印刷よもやま話－印刷術の歴史」等の学術書等の普及頒布を行った。

この部門において、7, 056, 387円を支出した。

5. 基金の取り崩し

上記の公益事業を実施するため、印刷製紙等技術調査研究基金規程第5条に基づき5, 000, 000円を取り崩し、印刷事業普及宣伝基金規程第5条に基づき21, 000, 000円を取り崩し、印刷製紙等学術図書出版頒布基金規程第5条に基づき9, 000, 000円を取り崩し、収入に充当した。